

プレスリリース

八幡平市メディテックバレーシンポジウムを開催します

5年間の取り組みを振り返り、今後の展望や課題を共有します

【発表の要旨】

「PHRと地域医療DXの5年間の歩みとこれから」をテーマに、八幡平市メディテックバレーシンポジウムを開催いたします。

市は平成27(2015)年度から行ってきた起業家育成事業発祥の技術を活用して、令和3年度に、過疎地域の見守りと医療のデジタルトランスフォーメーションを推進するために産学官連携組織「八幡平市メディテックバレーコンソーシアム」を設立しました。このコンソーシアムを母体とした取り組みは、内閣府の地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)の新規認定を得た、全国5事例の一つで、活動から5年を迎えた今年度は、認定の最終年となります。

シンポジウムでは、これまで取り組んできたオンライン診療、見守りサービス、ドローン物流やDXを通じた地域課題の解決について、それぞれの立場から振り返りと今後の展開などを紹介します。

1 **主催** 八幡平市メディテックバレーコンソーシアム(会長：佐々木孝弘)

2 **開催日時** 11月25日(火) 13:30～

3 **会場** 八幡平市西根地区市民センター

4 内容

- 1) 開会挨拶：佐々木孝弘(八幡平市長)
- 2) 講演①：「オンライン診療の今後の可能性―5年間の歩みを振り返って」
望月 泉(八幡平市立病院統括院長)
- 3) 講演②：「ウェアラブルデバイスを活用した訪問介護の展開」
天谷 尚子(和洋女子大学看護学部助教)
- 4) 講演③：「医薬品ドローン配送のこれまでの歩み」
石川 啓(いわてドローンコンソーシアム代表理事)
- 5) 講演④：「スパルタキャンプのこれまでとこれから」
高橋 一真(株)NEXT REVOLUTION 代表取締役)
- 6) 講演⑤：「”課題”こそ地域における最高の資源～過疎地から始まるDX革命～
中軽米 真人(八幡平市役所商工観光課課長補佐)

5 **参加費** 無料(要 公式サイトから事前申し込み)
公式サイト <https://8mv.biz/r7-symposium/>

6 **対象** どなたでもご参加いただけます

【担当】

産業建設部商工観光課 企業立地推進係
課長補佐 中軽米真人
電話 0195-74-2111(内線1320)



詳しくはこちら
シンポジウムサイト

PHRとは

Personal Health Record
(パーソナルヘルスレコード)の略。

病院や薬局ごとに保存・保管している個人の医療データであるPHRを、適切な本人の同意やセキュリティの確保を前提に、具体的なサービスモデルや情報連携技術モデルを構築していこうと、厚生労働省では、国民や関係機関等が安全で適切なサービスを選択・活用するためのルール作りや運用・メンテナンスを行う体制の整備について検討を進めています。